



上妻小学校だより

けいし

No. 10

令和8年2月5日

文責 校長

本年度の重点目標

「ちがいを認め合い、共に学ぶ子どもの育成」

冬休みを終え、校庭に子どもたちの元気な声に戻ってきて、約1か月たちました。

古くから「一年の計は元旦にあり」と言われます。物事を始めるにあたっては、最初にしっかりとした計画を立てることが大切であるという意味です。授業開始日の全校朝会では子どもたちに、「どんな自分になりたいか」という小さな目標を一つ決めようと話しました。学年末を迎え、子どもたちも日々真剣に学習に取り組んでおります。教職員一同、身の引き締まる思いです。

本年度の登校日は、6年生は卒業式まであと27日、1から5年生は修了式までわずか30日という短い期間ですが、今の学年のまとめであると同時に、次のステップへの準備期間でもあります。一日一日を大切に、子どもたちが自信を持って進級・進学を迎えられるよう、全力で支援してまいります。本年も、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

給食集会（1／29）

先日、給食記念日に合わせて「給食集会」を行いました。毎日、当たり前のように準備されている給食ですが、そこには、多くの方々の思いが詰まっています。

献立を考える栄養士の先生、朝早くから何百人分もの野菜などを切り、大きな釜で調理してくださる給食調理員さん、そして、食材を育て、届けてくださる生産者や業者の方々。給食を受け取りに行く際に

いつも見ている調理室の様子から、お仕事の大変さは子どもたちに伝わっていることでしょう。

本年度は、給食委員会の5・6年生が「いのちをいただく」という絵本を読んでもらいました。「いただきます」は命をいただくことへの感謝、「ごちそうさま」は作ってくださった方々への感謝。給食を通して、子どもたちは「当たり前」の裏側にある愛情に気づける、豊かな心を育ててほしいと願っています。



6年生が参加 ♪ 筑後地区小学校音楽祭

先日、1月30日(金)に久留米シティープラザで開催された「筑後地区小学校音楽祭」に6年生が参加しました。

大きな舞台を前に、出演前は緊張した面持ちだった子ども達。しかし、いざ自分たちの出番となると、その表情は一変しました。指揮をする()教諭をまっすぐ見つめる瞳、互いの声を感じ取り、心を一つにして重ねる歌声。会場全体に響き渡る美しいハーモニーは、聞いている人々の心に深く響くものでした。会場におられた他校の先生方からも、お褒めの言葉をたくさんいただきました。

一つの音楽を作り上げる過程には、決して楽なことばかりではなかったはず。うまく音程が取れなかったり、声が出なかったりという自分との向き合い。友達と声を合わせる難しさなど。それらを乗り越えた先にあったあの素晴らしいステージは、まさに6年生の絆そのもので、本当にキラキラ輝いていました。

インフルエンザの流行で、残念ながら参加できなかった子どももいましたが、これまでの練習で培った力は、今後の生きる力としての支えになることだと確信しています。

この経験から、緊張感に打ち勝つ精神力、仲間と心を合わせる協調性が育ったのではないかと考えております。一回り大きくなった6年生が、卒業に向けてさらに学校をリードしてくれることを期待しております。



八女市子ども議会(1/31)

先日、八女市役所4階八女市議会議場にて「八女市子ども議会」が開催されました。本校からも「子ども議員」として、6年組の()さんが参加し、堂々と意見を伝えてくれました。普段は、広報等の中でしか見ることのない議場。その重厚な空気感に、参加した子どもたちは緊張の面持ちでした。しかし、いざ質問の場になると、しっかりとした声で八女市の未来を想う言葉を伝えていました。

今回、本校からは「農地減少への対策について」をテーマに、資料を使いながら質問を行いました。

田んぼや畑が宅地になったり、大型スーパーが建ったりして農地が減っていることや、それに伴い農業に従事する人も減っている現状から、八女市としての対策について鋭い視点での意見を述べました。これに対し、八女市長さんが、一人の議員として意見を尊重し、真摯に答弁を返してくださいました。



ご家庭でもこれを機会に「八女市の未来」についてお子さんたちと語り合ってみられてはいかがでしょうか。